

平成30年度

人間環境大学

聴講生案内

人間環境学部

目次

・ 聴講生お申し込み方法	P.1
・ 開講スケジュール・授業時間帯	P.2
・ 聴講生時間割	P.3
・ 通年聴講生講座	P.4
・ 前期聴講生講座一覧	P.5～6
・ 後期聴講生講座一覧	P.7～9
・ 申し込みハガキ	巻末

人間環境大学では、社会一般の方々が聴講して頂けるように、人間環境学部の授業科目の一部を「人間環境大学聴講生」として開設いたしました。本講座の受講生は、講座を人間環境学部の学生と一緒に受講することとなります。

【聴講生お申し込み方法】

1. 開講科目、担当教員、募集人員

開講科目、担当教員、募集人員については、講座案内 P3～P9 の「聴講生時間割」「聴講生講座一覧」をご参照下さい。

2. 受講資格

高等学校卒業者、またはこれと同等以上の学力を有すると学長が認めた方とします。

3. お申込み受付期間

〔前期・通年〕平成30年2月28日(水)～3月9日(金) 必着

〔後期〕平成30年4月4日(水)～8月16日(木) 必着

4. お申込みから開講までの流れ

お申し込み

(専用ハガキで)

前期・通年 3月9日(金) 必着

後期 8月16日(木) 必着

①付属の申し込み専用ハガキに必要事項を記入の上、上記受付期間中に本学教務課宛て郵送ください。

②受付は先着順とさせていただきます。したがって、定員に達した場合は受付期間中でも募集を終了させていただきます。

③受講講座数の制限はありません。ただし、同曜日・同時限に開講される講座を重複してお申込みはできません。

受講可否通知

前期・通年 3月13日(火) 発送

後期 8月21日(火) 発送

①申込期間終了後、1週間以内に「受講の可否について」通知文書及び「受講手続き案内」を郵送します。

②定員となりキャンセル待ち状態の講座がある場合もありますので、お申込み後受講を取り消される場合は、必ずお知らせください。

受講手続き

前期・通年期限 3月23日(金)

後期期限 8月31日(金)

①下記の書類を、本学教務課宛て郵送下さい(詳細は受講可否通知時にお知らせします)。

(1)受講登録および申込書(本学所定用紙)

(2)最終学校卒業証明書(卒業証書等卒業がわかる書類の写しも可)

※過去にご提出いただいた方は不要

(3)その他(出願者の経歴により、提出をお願いする場合があります)

②期限までに、受講料及び登録料を納入してください。(大学窓口での納入は受け付けておりません。振込み手数料は振込み者のご負担となります。)

受講開始・受講初日

受講日初日には、開講前に必ず教務課へお越しください。聴講生証をお渡しいたします。また、講座開講教室もこの時にご案内いたします。

※開講日程については、次頁の「開講スケジュール」をご確認下さい。

5. 登録料・受講料

	金額	備考
登録料	3,000円	平成30年度末迄有効 人間環境大学、岡崎学園国際短期大学、人間環境大学岡崎学園高等学校(前進の高等学校等含)を卒業した方及び人間環境大学在学生父母は登録料免除。
受講料	10,000円	半期1科目あたりの金額
	20,000円	通年1科目あたりの金額

※上記以外に、実習費の必要な科目の実習費実費、テキスト代が別途必要となります。

書類送付及びお問合せ先:

受付時間〔平日〕9:30～16:00
〔土曜〕9:30～12:30

人間環境大学 教務課
TEL 0564-48-2232 (教務課直通)
TEL 0564-48-7811 (代) FAX 0564-48-7814
〒444-3505 愛知県岡崎市本宿町上三本松 6-2

【開講スケジュール】

授業日〔各曜日の①～⑮が授業日・授業回数です〕

前期

	日	月	火	水	木	金	土
4月	1	2	3	4	5	6	7
	8	9 ①	10 ①	11 ①	12 ①	13 ①	14 ①
	15	16 ②	17 ②	18 ②	19 ②	20 ②	21 ②
	22	23 ③	24 ③	25 ③	26 ③	27 ③	28 ③
	29	30 ④					
5月			1 ④	2 ④	3	4	5
	6	7 ⑤	8 ⑤	9 ⑤	10 ④	11 ④	12 ④
	13	14 ⑥	15 ⑥	16 ⑥	17 ⑤	18 ⑤	19 ⑤
	20	21 ⑦	22 ⑦	23 ⑦	24 ⑥	25 ⑥	26 ⑥
	27	28 ⑧	29 ⑧	30 ⑧	31 ⑦		
6月						1 ⑦	2 ⑦
	3	4 ⑨	5 ⑨	6 ⑨	7 ⑧	8 ⑧	9 ⑧
	10	11 ⑩	12 ⑩	13 ⑩	14 ⑨	15 ⑨	16 ⑨
	17	18 ⑪	19 ⑪	20 ⑪	21 ⑩	22 ⑩	23 ⑩
	24	25 ⑫	26 ⑫	27 ⑫	28 ⑪	29 ⑪	30 ⑪
7月	1	2 ⑬	3 ⑬	4 ⑬	5 ⑫	6 ⑫	7 ⑫
	8	9 ⑭	10 ⑭	11 ⑭	12 ⑬	13 ⑬	14 ⑬
	15	16	17 ⑮	18 ⑮	19 ⑭	20 ⑭	21 ⑭
	22	23 ⑮	24	25	26 ⑮	27 ⑮	28 ⑮
	29	30	31				

事務窓口休業

1（斜体数字）…日曜・祝日

後期

	日	月	火	水	木	金	土
9月							1
	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17 ①	18 ①	19 ①	20 ①	21 ①	22 ①
	23	24 ②	25 ②	26 ②	27 ②	28 ②	29 ②
10月	30						
		1 ③	2 ③	3 ③	4 ③	5 ③	6 ③
	7	8	9 ④	10 ④	11 ④	12 ④	13 ④
	14	15 ④	16 ⑤	17 ⑤	18 ⑤	19 ⑤	20 ⑤
	21	22 ⑤	23 ⑥	24 ⑥	25 ⑥	26	27
11月	28	29 ⑥	30 ⑦	31 ⑦			
					1 ⑦	2 ⑥	3
	4	5 ⑦	6 ⑧	7 ⑧	8 ⑧	9 ⑦	10 ⑥
	11	12 ⑧	13 ⑨	14 ⑨	15 ⑨	16 ⑧	17 ⑦
	18	19 ⑨	20 ⑩	21 ⑩	22 ⑩	23 ⑨	24 ⑧
12月	25	26 ⑩	27 ⑪	28 ⑪	29 ⑪	30 ⑩	
							1 ⑨
	2	3 ⑪	4 ⑫	5 ⑫	6 ⑫	7 ⑪	8 ⑩
	9	10 ⑫	11 ⑬	12 ⑬	13 ⑬	14 ⑫	15 ⑪
	16	17 ⑬	18	19	20	21	22 ⑫
1月	23	24	25	26	27	28	29
	30	31					
			1	2	3	4 ⑬	5 ⑬
	6	7 ⑭	8 ⑭	9 ⑭	10 ⑭	11 ⑭	12 ⑭
	13	14	15 ⑮	16 ⑮	17 ⑮	18	19
1月	20	21 ⑮	22	23	24	25 ⑮	26 ⑮
	27	28	29	30	31		

※各講座は、15回の予定で開講します。

※休講等が発生した場合は、原則として補講が実施されます。休講の情報は、事前に判明した場合、授業中または掲示板を通じてご連絡いたします（台風等自然災害による休講は、課題等を補講に替える場合があります）。

※補講の日程は、科目担当教員が受講生と相談の上決定いたします。

※国民の休日で授業日となる日

前期：4/30 振替休日

後期：9/17 敬老の日、9/24 秋分の日、11/23 勤労感謝の日

【授業時間帯】

時限	月～金	土
1 時限	9:10～10:40	9:10～10:40
2 時限	10:50～12:20	10:50～12:20
3 時限	13:20～14:50	
4 時限	15:00～16:30	
5 時限	16:40～18:10	

【受講場所及び通学について】

授業は全て人間環境大学岡崎キャンパス（岡崎市本宿町）で行います。

本学駐車スペースに余裕がないため、大学までの通学には、公共交通機関を利用してください。名鉄本宿駅と大学間は本学スクールバス（無料）をご利用ください。ただし、身体上の都合により、自家用車での通学を希望する場合は、事前に教務課までご連絡ください。

平成30年度 聴講生(授業開放講座)時間割

通年講座				
曜日	時限	科目名	講師	掲載ページ
木	4	基礎簿記	教授 磯貝 明	4

前期講座				
曜日	時限	科目名	講師	掲載ページ
月	1	中国の歴史と文化Ⅰ	教授 渡 昌弘	6
火	1	日本の言語芸術と文化Ⅲ	教授 花井 しおり	5
	1	環境リスク概論	助教 谷地 俊二	5
	3	日本の言語芸術と文化Ⅰ	教授 花井 しおり	6
	3	社会心理学	准教授 吉武 久美	5
水	2	中国の歴史と文化Ⅲ	教授 渡 昌弘	6
	3・4 (2時限連続)	物質循環とエネルギー	教授 長井 正博	5
木	1	基礎生物学	准教授 藤井 伸二	5
	2	日本美術文化論Ⅲ	准教授 菅原 太	6
	3	農業生態系のしくみ	准教授 藤井 伸二	5
金	1	日本美術文化論Ⅰ	准教授 菅原 太	6

後期講座				
曜日	時限	科目名	講師	掲載ページ
月	1	中国の歴史と文化Ⅱ	教授 渡 昌弘	8
火	1	ミクロ経済学Ⅱ	教授 山根 卓二	7
	1	日本の言語芸術と文化Ⅳ	教授 花井 しおり	8
	1	地球環境の化学像	准教授 藤井 芳一	7
	4・5 【隔週開講】	教師と倫理	教授 川口 雅昭	8
水	1	環境と生物の進化	准教授 藤井 伸二	7
	3・4 (2時限連続)	水環境での物質循環	教授 長井 正博	7
木	1	言語表現論	教授 岡 良和	9
	1	植物生態学	准教授 藤井 伸二	7
	2	学校心理学	講師 坂本 真也	8
	2	日本美術文化論Ⅳ	准教授 菅原 太	9
	3	生物多様性	准教授 藤井 伸二	7
金	1	日本美術文化論Ⅱ	准教授 菅原 太	9
	1	環境と開発	助教 武田 淳	8
	2	産業・組織心理学	准教授 三後 美紀	8

通年聴講生講座

(通年：4月～1月)

講座 No. J10301 [社会科学]

基礎簿記

講 師／教授 磯貝明

開講日／木曜日 4 時限 定員／5 名



授業のテーマ：

企業が営利目的の組織である以上、そこには必ず会計が存在している。将来、企業に就職しようと考えている学生にとって会計の知識は必要不可欠である。とりわけ簿記は会計学を学習するうえでの基本となるものである。本講義では、簿記を初めて学ぶ学生が日商簿記検定 3 級の合格水準に達することを目的としている。

授業の概要：

日商簿記検定 3 級合格を目指した講義を行う。簿記を初めて学ぶ学生にもわかりやすいよう、初歩的な内容から解説を始めていく。日商簿記検定 3 級受験対策テキストを用いて、基本事項の解説と演習問題も含めた実践的な講義を行ない、ワークブックの問題の解法について解説する。

前期 聴講生講座一覧

(前期：4月～7月)

講座 No. ES60101 [理・工・農学]

物質循環とエネルギー

講 師／教授 長井正博

開講日／水曜日3・4時限(2時限連続) 定員／5名

授業のテーマ：

自然環境を体系的に理解するためには、物質とエネルギーに関する知識が欠かせない。生物環境での物質循環を理解するためには、光合成と呼吸とを中心において、代表的な生体反応を整理することが重要である。

授業の概要：

代表的な有機物について紹介したのち、化学変化の向きとエネルギーの増減との関係について解説する。これらの知識を基に、代表的な生体内の化学反応について説明する。



講座 No. I20201 [理・工・農学]

基礎生物学

講 師／准教授 藤井伸二

開講日／木曜日 1 時限 定員／5名

授業のテーマ：

生物学および生化学の基本的な概念と知識を習得することで、これからの専門的内容を学習するための基盤を形成する。

授業の概要：

基本的な生物の構造と生命活動についての体系的解説を行う。細胞の基本構造、呼吸および光合成の生化学反応、生殖と世代交代、生命活動における遺伝子の働きを紹介する。これらの内容は、次年度以降の生物学関連の専門的内容を学習するために必須。



講座 No. I30201 [理・工・農学]

農業生態系のしくみ

講 師／准教授 藤井伸二

開講日／木曜日 3 時限 定員／5名

授業のテーマ：

人里の自然における生物多様性を理解し、農業が享受する生態系サービスと被っている脅威を学ぶことにより、人類が持続的農業をおこなってゆくには何が必要かを考える機会とする。

授業の概要：

農業生態系の環境の特質、生物群の特徴、適応の形質、共生系による生態系サービス、営農活動の変化にともなう農業依存生物の減少の現状を解説する。また、侵略的外来生物の実態について紹介する。



講座 No. I23801 [社会科学]

環境リスク概論

講 師／助教 谷地俊二

開講日／火曜日 1 時限 定員／5名

授業のテーマ：

地球環境問題への対応やその解決においては、科学的知見を得ると共に、問題への柔軟な解釈と策を見出す能力が求められる。このことから、環境問題や科学的なものの考え方を踏まえた上で、科学的判断ツールとしてリスクの概念を理解し、多角的で合理的な思考法を身に付けることが本講義の目的である。

授業の概要：

地球環境問題の個別テーマは、別途開講科目である『地球環境問題概説』で取り上げる。本講義では、それらの個別の知識を統合化することによって初めて“現場での”環境問題に対処できることを、実例及び考え方から紹介するとともに、実際の環境問題やデータ、及び例示するデータを用いて、参加学生と議論を行ないその理解を深める。



講座 No. K21101 [心理学]

社会心理学

講 師／准教授 吉武久美

開講日／火曜日 3 時限 定員／5名

授業のテーマ：

多くの人やモノに囲まれた生活を送る私たちが、周りの環境や人々に与える影響、与えられる影響について考え、社会心理学の視点から日常的な現象を見る力を獲得することを目的とする。

授業の概要：

個人、個人と集団、集団と集団、家族や文化などに関わる社会心理学のトピックについて取り上げ、それらについて代表的な知見を学ぶ。



講座 No. HC10701 [人文科学]

日本の言語芸術と文化Ⅲ

講 師／教授 花井しおり

開講日／火曜日 1 時限 定員／5名

授業のテーマ：

『万葉集』をよむ。奈良時代を代表する文学作品である万葉集の歌の表現の特質を理解する。

授業の概要：

万葉集の「四季」の歌を、古典文法に則して読む。



理・工・農学

社会科学

心理学

人文科学

講座 No. HC10901 [人文科学]

中国の歴史と文化Ⅰ

講 師／教授 渡昌弘

開講日／月曜日 1 時限 定員／5 名

授業のテーマ：

中国を大きな歴史の流れの中でとらえることにより、現在の中国の政治や経済のあり方が、どのような歴史や文化に根差しているかを理解する一助とする。

授業の概要：

中国といっても、その対象となる地域は様々な地理的景観を含み、民族関係は複雑で、言語・文字も極めて多様である。そこで古代などの時代に分け、それぞれの特徴的な事項を取り上げて現代社会を考える一助とする。



講座 No. HC11101 [人文科学]

中国の歴史と文化Ⅲ

講 師／教授 渡昌弘

開講日／水曜日 2 時限 定員／5 名

授業のテーマ：

中国を大きな歴史の流れの中でとらえることにより、現在の中国の政治や経済のあり方が、どのような歴史や文化に根差しているかを理解する一助とする。

授業の概要：

中国といっても、その対象となる地域は様々な地理的景観を含み、民族関係は複雑で、言語・文字も極めて多様である。そこで近代などの時代に分け、それぞれの特徴的な事項を取り上げて現代社会を考える一助とする。



講座 No. HC10501 [人文科学]

日本の言語芸術と文化Ⅰ

講 師／教授 花井しおり

開講日／火曜日 3 時限 定員／5 名

授業のテーマ：

『万葉集』の作品を古典文法・歴史的事項をもとに理解することができる。

授業の概要：

中学校・高等学校の「国語」の教科書で取り上げられる、奈良時代を代表する文学作品に触れることにより、美しい日本語の表現に接するのとともに、日本文学・日本文学史の基礎的な知識を養う。



講座 No. HC10101 [人文科学]

日本美術文化論Ⅰ

講 師／准教授 菅原太

開講日／金曜日 1 時限 定員／5 名

授業のテーマ：

日本人と自然の関係を芸術作品を通して捉え直してゆく。

授業の概要：

各時代を代表する美術・建築・庭園を通観し、日本人がいかにして自然を取り込み、自然の中に入っていったかを明らかにする。



講座 No. HC10301 [人文科学]

日本美術文化論Ⅲ

講 師／准教授 菅原太

開講日／木曜日 2 時限 定員／5 名

授業のテーマ：

風俗や芸能など、人々の憧れの世界を描いた近世風俗画をとおして、日本文化における聖と性の関係、都市社会におけるアイドルイメージの生産と消費の様を読み解く。

授業の概要：

京都の遊楽図に始まり、寛文美人図を経て江戸の浮世絵へと展開する近世風俗画の女性イメージを取り上げ、そのモデルとなった人物やキャラクターイメージ、ファッション、表現様式の変遷をたどる。



後期 聴講生講座一覧

(後期：9月～1月)

講座 No. ES60401 [理・工・農学]

水環境での物質循環

講 師／教授 長井正博

開講日／水曜日3・4時限(2時限連続) 定員／5名

授業のテーマ：

元素は形態を変えながら地球環境中を循環している。物質循環に関する知識を、地球上の水の流れに沿って整理して理解する。

授業の概要：

降水、森林と農地、渓流水と河川水、湖沼と海水、湖底と海底の順に、物質の分布と動きの実際を紹介するとともに、それを支配する要因を化学法則、生物の役割、水のうごきを中心に解説する。



講座 No. ES30101 [理・工・農学]

環境と生物の進化

講 師／准教授 藤井伸二

開講日／水曜日1時限 定員／5名

授業のテーマ：

生態学および進化生態学の基本的な概念と知識を習得することで、これからの専門的内容を学習するための基盤を形成する。

授業の概要：

非生物的環境への適応と生物間相互関係を通じた生物的環境への適応のそれぞれについて具体例をあげて解説する。さらに、ニッチ概念の重要性と生態学上の理論展開を解説する。これらの概念は、次年度以降の生態学関連の専門的内容を学習するために必須。



講座 No. I21401 [理・工・農学]

生物多様性

講 師／准教授 藤井伸二

開講日／木曜日3時限 定員／5名

授業のテーマ：

生態系サービスおよび生物多様性の現状とその危機について学ぶことで、これからの共生的・持続的な社会構築を科学的な根拠に基づいて論理的に考える。

授業の概要：

共生的・持続的な人類活動を行っていく上でのグローバルスタンダードとしての生物多様性に関する基礎知識について解説する。生態系サービスとしての生物多様性の概念とその価値観、生物多様性の現状、人類活動の活発化と生物多様性の劣化、指標種の種類と特徴、保全における課題について、具体例を挙げて解説する。



講座 No. ES30501 [理・工・農学]

植物生態学

講 師／准教授 藤井伸二

開講日／木曜日1時限 定員／5名

授業のテーマ：

植物生態学を学ぶことで、植物学分野の高度かつ専門的な学習および卒業研究への取り組みの基盤を形成する。

授業の概要：

極相群集としての植生、植生の類型化と環境、植物の季節適応、生態系の機能群集、外来植物を具体例に、植物生態学の基本的な概念、知識、理論を学習する。



講座 No. ES60001 [理・工・農学]

地球環境の化学像

講 師／准教授 藤井芳一

開講日／火曜日1時限 定員／5名

授業のテーマ：

自然環境や生物に配慮した人間活動を行うためには、環境や生物内での物質のふるまいに関する知識を習得することが必要である。本講義では、自然環境保全に係る技能や知識、考え方をものにしたい学生を対象に、関連する化学の基礎知識を習得させることを目標にしている。

授業の概要：

本講義では、化学的思考の基礎となる元素と原子との関係、化学結合、化学反応の主なものについて学び、それらの知識が環境中で生じる事象の理解にどのように繋がるのかについて解説する。



講座 No. J33501 [社会科学]

ミクロ経済学Ⅱ

講 師／教授 山根卓二

開講日／火曜日1時限 定員／2名

授業のテーマ：

経済的に効率的な（ムダのない）行動（買い物、経営）、経済的に効率的な（ムダのない）社会とは何かについて知ることを通じて、経済経営における基本原理を理解する。

授業の概要：

効率的な市場ではどのように価格が決まる傾向があるのか、そこではどういうメカニズムが働いてムダが省かれるのかについて学ぶ。そのあとで、効率的でない市場が効率的な市場と比べてどんな無駄を抱えているか、そのムダをどうやって取り除くのかなどについて知る。



講座 No. ES71201 [社会科学]

環境と開発

講 師／助教 武田淳
開講日／金曜日 1 時限 定員／5 名

授業のテーマ：
人と自然の関わり合いを、文化人類学的視点から理解すると共に、開発や環境保全を巡る援助の課題と問題点を事例に即して理解する。

授業の概要：
広く開発途上国の現状や国際協力の発展の歴史を扱ってきた国際協力論に対し、本科目では、環境に特化して掘り下げを行う。1 回から 5 回目までは、人はどのように自然環境に関わりながら暮らしてきたのか、文化人類学の中でも文化生態学と呼ばれる視点から論じていく。その作業を通じて、人々の生活文化の中に宿る「自然を守る知恵」について考える。6 回から 10 回は、森林伐採や気候変動など、開発途上国が直面した開発にスポットを当てる。自然環境が失われることや、「開発」という言説が途上国社会にどのような影響を与えたのか、各地の事例から検討する。11 回から 15 回までは、「環境保全」と呼ばれる新たな開発の潮流を取り上げる。開発であれ環境保全であれ、開発途上国の人々からしてみれば、「外からやってきたもの」であることに変わりはない。「環境保全」という新しい概念を人々がどのように解釈し、社会に変化をもたらしているのか事例検討を行う。



講座 No. K33401 [心理学]

学校心理学

講 師／講師 坂本真也
開講日／木曜日 2 時限 定員／5 名

授業のテーマ：
教育・発達心理学に関連した学びとして、学校現場および子どもたちを取り巻く問題とその背景要因、さらに学校現場の特徴を踏まえた上での支援・援助について学習していく。

授業の概要：
現在、学校現場では、子どもたちの抱える問題が深刻化し、その対応が急務となっている。一方、学校現場は、児童生徒が学習面、生活面、心理社会面において、成長・発達している場という特徴も持っている。そこで、本講義では、学校現場が抱える問題の理解を深めるとともに、成長促進的な援助のあり方についても、グループ討議なども交えつつ実践的に学んでいく。



講座 No. K30101 [心理学]

産業・組織心理学

講 師／准教授 三後美紀
開講日／金曜日 2 時限 定員／5 名

授業のテーマ：
われわれは人生の多くの時間を学校や企業などの組織で過ごす。この授業では、個と組織の関係について産業・組織心理学の見地から再考し、組織における人間の成長について客観的に捉え直す思考力と、生き生きとした組織での生活を創造していく判断力を身につけることを目的とする。

授業の概要：
企業や学校、家庭などの集団における人間の行動や心の動きについて学ぶ。集団における個人の行動を「個人の集団内での発達」という視点を加えながら理解していく。



講座 No. L24601 [人文科学]

教師と倫理

講 師／教授 川口雅昭
開講日／火曜日 4・5 時限【隔週開講】 定員／5 名

授業のテーマ：
現在、学校の教師に関しては、「暴力」・「ハラスメント」など、「不祥事」が絶えることはない。その主因の一つは、我が国の教師の人間の力量の低下であろう。そこで、本講では、一人の人間として、また、教師として、最低必要な倫理とは何かを考察し、それを身に付けることを目的とする。

授業の概要：
授業では、色々な先哲の遺文を通して、人間の生き方を考えながら、一人の人間として、また、教師として、如何にあるべきか、如何にありたいか、ということを考えさせたい。



講座 No. HC10801 [人文科学]

日本の言語芸術と文化Ⅳ

講 師／教授 花井しおり
開講日／火曜日 1 時限 定員／5 名

授業のテーマ：
『伊勢物語』を読む。中学校・高等学校の「国語」で取り上げられることの多い、平安時代の歌物語『伊勢物語』を古典文法に則して読解する。

授業の概要：
平安時代の歌物語『伊勢物語』を読む。



講座 No. HC11001 [人文科学]

中国の歴史と文化Ⅱ

講 師／教授 渡昌弘
開講日／月曜日 1 時限 定員／5 名

授業のテーマ：
中国を大きな歴史の流れの中でとらえることにより、現在の中国の政治や経済のあり方が、どのような歴史や文化に根差しているかを理解する一助とする。

授業の概要：
中国といっても、その対象となる地域は様々な地理的景観を含み、民族関係は複雑で、言語・文字も極めて多様である。そこで近世などの時代に分け、それぞれの特徴的な事項を取り上げて現代社会を考える一助とする。



講座 No. HC10001 [人文科学]

言語表現論

講 師／教授 岡良和

開講日／木曜日 1 時限 定員／ 5 名

授業のテーマ：

コミュニケーションを通じて地域社会に円滑に参加し、ひいてはグローバルな観点を習得する。

授業の概要：

音声、語、文の各レベルにおける構造を紹介し、次いで字義的な表現のみならず、婉曲表現、皮肉、比喩などの多様な表現形式を題材として、言語表現活動の中で作用している推論や前提、さらには場面が果たす役割について検討する。



講座 No. HC10201 [人文科学]

日本美術文化論Ⅱ

講 師／准教授 菅原太

開講日／金曜日 1 時限 定員／ 5 名

授業のテーマ：

日本人と風土・自然の関係を芸術作品を通して捉え直してゆく。

授業の概要：

日中の各時代の水墨画を中心とした絵画を通観し、日本人がいかにして異文化を取り込み、日本の自然・風土・社会に合わせて独自の文化として消化していったかを明らかにする。



講座 No. HC10401 [人文科学]

日本美術文化論Ⅳ

講 師／准教授 菅原太

開講日／木曜日 2 時限 定員／ 5 名

授業のテーマ：

ヴィジュアルデザイン、服飾デザイン、工芸デザインなど、様々な分野で 21 世紀の現在もなお影響力を持つ琳派は、古典のやまと絵と身近な自然をモチーフとすることから日本固有の主題と様式を持つ。その琳派作品をととして日本人独自の感性や表現とは何かを考え、日本人の自然観や美意識を探る。

授業の概要：

俵屋宗達、尾形光琳、江戸琳派の作品を軸に、装飾と写実という対極の要素を高い次元で融合させた琳派の造形感覚と空間意識、そこに託された意味を考える。



平成30年度聴講生受講申込ハガキ

		① 受付番号	
② フリガナ			③ 性別
氏名			男・女
④ 生年月日 (年齢)	年 月 日生(満 歳)		
⑤ 職種	1. 会社員 2. 自営業 3. 主婦 4. 大学生 5. その他()		
	1. 人間環境大学卒 2. 岡崎学園国際短期大学卒 3. 人間環境大学岡崎学園高等学校(前身の高等学校含) 4. 人間環境大学在学生父母		
⑥ 住所	〒 -		
⑦ 電話	()	-	
携帯電話	()	-	
⑧ 希 望 講 座 名			
1	講座 No.		
2	講座 No.		
3	講座 No.		
4	講座 No.		

<受講申し込みハガキの記入方法>

- ① 受付番号の欄は記入しないでください。
 ② 氏名は、上段にフリガナを下段に漢字で氏名をご記入下さい。
 ③ 性別は、当該する事項に○印を付けてください。
 ④ 生年月日、年齢をご記入下さい。
 ⑤ 職種は、該当の項目に○印を付けてください。

(人間環境大学、岡崎学園国際短期大学、人間環境大学岡崎学園高等学校(前身の高等学校等含)を卒業した方、または人間環境大学在学生父母の方は、その下の欄の該当項目にも○印を付けてください)。

- ⑥ 住所は楷書で、郵便番号から、マンション・アパート名及び部屋番号まで正確にご記入下さい。
 ⑦ 電話は、市外局番から正確にご記入下さい。また、携帯電話をお持ちの方は併せてご記入下さい。
 ⑧ 受講講座数の制限はなく、何講座でもお申込みいただけます。ただし、定員に達した場合は受付期間中であっても募集を終了させていただきます。
 また、同一曜日・時限に開講される科目は同時に登録することはできません。

※ご記入いただいた個人情報は、巻末の〈個人情報の利用目的について〉以外の目的に使用することはありません。

5	講座 No.	
6	講座 No.	
7	講座 No.	
8	講座 No.	

平成30年度聴講生受講申込ハガキ

		① 受付番号	
② フリガナ			③ 性別
氏名			男・女
④ 生年月日 (年齢)	年 月 日生(満 歳)		
⑤ 職種	1. 会社員 2. 自営業 3. 主婦 4. 大学生 5. その他()		
	1. 人間環境大学卒 2. 岡崎学園国際短期大学卒 3. 人間環境大学岡崎学園高等学校(前身の高等学校含) 4. 人間環境大学在学生父母		
⑥ 住所	〒 -		
⑦ 電話	()	-	
携帯電話	()	-	
⑧ 希 望 講 座 名			
1	講座 No.		
2	講座 No.		
3	講座 No.		
4	講座 No.		

<受講申し込みハガキの記入方法>

- ① 受付番号の欄は記入しないでください。
 ② 氏名は、上段にフリガナを下段に漢字で氏名をご記入下さい。
 ③ 性別は、当該する事項に○印を付けてください。
 ④ 生年月日、年齢をご記入下さい。
 ⑤ 職種は、該当の項目に○印を付けてください。

(人間環境大学、岡崎学園国際短期大学、人間環境大学岡崎学園高等学校(前身の高等学校等含)を卒業した方、または人間環境大学在学生父母の方は、その下の欄の該当項目にも○印を付けてください)。

- ⑥ 住所は楷書で、郵便番号から、マンション・アパート名及び部屋番号まで正確にご記入下さい。
 ⑦ 電話は、市外局番から正確にご記入下さい。また、携帯電話をお持ちの方は併せてご記入下さい。
 ⑧ 受講講座数の制限はなく、何講座でもお申込みいただけます。ただし、定員に達した場合は受付期間中であっても募集を終了させていただきます。
 また、同一曜日・時限に開講される科目は同時に登録することはできません。

※ご記入いただいた個人情報は、巻末の〈個人情報の利用目的について〉以外の目的に使用することはありません。

5	講座 No.	
6	講座 No.	
7	講座 No.	
8	講座 No.	



University of Human Environments

6-2 Kamisambonmatsu, Motojuku-cho, Okazaki, 444-3505, Japan
Phone: +81-564-48-7811 Fax: +81-564-48-7814
URL <http://www.uhe.ac.jp>

62円切手
をお貼り
ください

444-3505

岡崎市本宿町上三本松6-2

人間環境大学
岡崎キャンパス事務部教務課行

ヤ
マ
オ
リ

人間環境大学

University of Human Environments

〒444-3505 愛知県岡崎市本宿町上三本松6-2
TEL 0564-48-2232(教務課直通)
TEL 0564-48-7811(代表) FAX 0564-48-7814
URL <http://www.uhe.ac.jp/> E-mail kyoumuka@uhe.ac.jp



University of Human Environments

6-2 Kamisambonmatsu, Motojuku-cho, Okazaki, 444-3505, Japan
Phone: +81-564-48-7811 Fax: +81-564-48-7814
URL <http://www.uhe.ac.jp>

62円切手
をお貼り
ください

444-3505

岡崎市本宿町上三本松6-2

人間環境大学
岡崎キャンパス事務部教務課行

ヤ
マ
オ
リ

人間環境大学

University of Human Environments

〒444-3505 愛知県岡崎市本宿町上三本松6-2
TEL 0564-48-2232(教務課直通)
TEL 0564-48-7811(代表) FAX 0564-48-7814
URL <http://www.uhe.ac.jp/> E-mail kyoumuka@uhe.ac.jp

【個人情報の利用目的について】

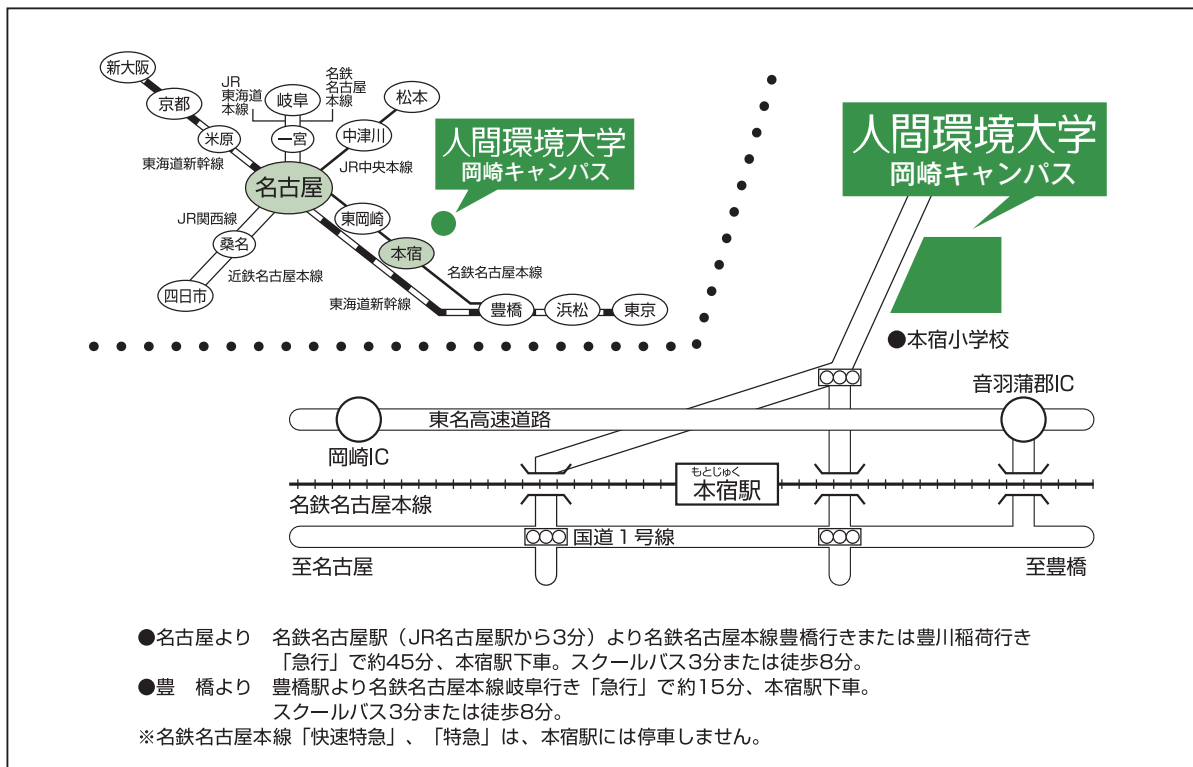
人間環境大学聴講生として、受講生から提供して頂く個人情報については、原則として以下の目的以外で利用することはありません。

- ・ 聴講生パンフレットや資料等、募集広告に関連する書面等のご送付
- ・ 受講申込みをされた講座に関する書面のご送付、お電話や電子メールによるご連絡
- ・ 聴講生全般に関する書面のご送付、お電話や電子メールによるご連絡
- ・ 講師用の受講生名簿への記載（但しお名前のみ）
- ・ 図書館等学内施設の利用に関するお電話、お手紙または電子メールによるご連絡
- ・ 各種統計の作成（但し個人を特定しない）

人間環境大学

岡崎キャンパス

ACCESS GUIDE



岐阜 松本 四日市より	名鉄 岐阜駅	名鉄快速特急、特急 約50分			名鉄東岡崎駅	名鉄急行準急 約10分 15分間隔運行	名鉄本宿駅	徒歩8分	岡崎キャンパス
	JR 松本駅	JR中央西線特急 約120分	JR近鉄名古屋駅	名鉄名古屋駅					
	近鉄・JR 四日市駅	近鉄名古屋本線 JR関西本線特急約30分							
静岡 浜松より	JR 静岡駅	新幹線こだま 約50分			名鉄急行 約15分 30分間隔運行			スクールバス3分 (無料)	
	JR 浜松駅	JR東海道本線 約35分	JR豊橋駅	名鉄豊橋駅					

※時間は乗車時間の目安です。乗り換え時間は入ってません。

【受講場所及び通学について】

授業は全て人間環境大学岡崎キャンパス（岡崎市本宿町）で行います。

大学までの通学には、公共交通機関を利用してください。名鉄本宿駅と大学間は本学スクールバス（無料）をご利用ください。

人間環境大学 教務課

〒444-3505 愛知県岡崎市本宿町上三本松6-2

● お問い合わせ先 ●

TEL 0564-48-2232（教務課直通）

URL <http://www.uhe.ac.jp/> 携帯URL <http://uhe.jp/> e-mail kyoumuka@uhe.ac.jp